

# 持続可能な開発目標 (SDGs) と上下水道事業

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## SDGsって?

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは、「誰ひとり取り残さない」を基本理念として、平成27(2015)年9月に国連サミットで採択された世界共通の目標です。「貧困をなくそう」、「飢餓をゼロに」など**17のゴール(目標)**があり、その下に**169のターゲット(具体的な目標)**がまとめられています。

SDGsの17のゴールは、令和12(2030)年までの実現を目指しています。川崎市では、平成31(2019)年に「川崎市持続可能な開発目標 (SDGs) 推進方針」を策定し、市をあげてSDGsの達成に向けた取組を進めています。

「川崎市持続可能な開発目標 (SDGs) 推進方針」の詳細はこちらをご覧ください。



「川崎市上下水道ビジョン」の詳細はこちらをご覧ください。



## 上下水道局とSDGsの関わり

上下水道局は、水道・工業用水道・下水道の各事業を将来にわたって持続し、市民や事業者の皆さまの生活や経済活動を支え続けていくため、「川崎市上下水道ビジョン」の中で次の3つの目標を設定しました。これらの目標の達成に向けた取組を進めることで、SDGsの達成に寄与しています。

## SDGsのゴールと上下水道事業の目標

### 目標1

#### 安定給水の確保と安全性の向上

お客さまがいつでも安心して使用できる良質で安全な水道水を安定的に供給できるよう、水源からお客さまの蛇口に至るまで、徹底した水質管理を将来にわたり継続して実施します。また、水道・工業用水道施設の更新・耐震化や、災害対策用設備の整備などの取組を進め、災害時にも機能を維持できるシステムを構築します。



川崎市総合防災訓練



漏水調査の様子

#### 関連するゴール



### 目標2

#### 下水道による良好な循環機能の形成

使った水をきれいにして川や海に戻したり、まちを大雨から守ったりする役割を将来にわたり継続して果たすことにより、市民の皆さまに衛生的で安全な生活を提供します。また、今後想定される大規模地震や、近年の気候変動による集中豪雨などに備えつつ、施設の耐震化や老朽化した施設の更新などを計画的に進めます。



水質試験の様子



下水管きよの清掃

#### 関連するゴール



### 目標3

#### 市民サービスの充実と持続可能な経営基盤の確保

お客さまが将来にわたり上下水道を安心して快適にお使いいただけるよう、絶えずお客さまとの信頼関係を築いていくとともに、適切な財源確保などにより、持続可能な経営基盤を確保します。また、世界には今なお安全な水とトイレを利用できない人が多く存在するという現状に対し、国際展開を通じて世界の水環境の改善に貢献していきます。



市民の方を招いたイベント



国際展開の取組

#### 関連するゴール

